

■スウェーデン：自動運転トラックの走行試験が始まる

スウェーデンのスタートアップ企業 EINRIDE は 2019 年 5 月 20 日、T-Pod と呼ばれる自動運転トラックの公道での試験走行を開始した。これは、同国の運輸庁が 2019 年 3 月 11 日に T-Pod の公道での走行に関する同社の申請を許可したことによるもので、工業地域内の倉庫とターミナルの間の公道を走行することが可能となった。T-Pod はバッテリーを搭載した車体重量 26 トンのトラックで、遠隔操作により積荷の運搬が可能でカメラやレーダー、3D センサーを搭載することで周囲の状況を認識し、5G ネットワークにより遠隔操作することが可能としている。過去の報道によると、T-Pod に搭載されたバッテリーの容量は 1 台当たり 200kWh で、航続距離は 200km である。スウェーデン国内で 2020 年までに Gothenburg と Helsingborg 間（約 250km）の積荷の運搬が検討されている。